

平成 27 年度 ケアハウスふるさと 事業報告書

【運営方針】

「少しでも 長く元気で 自分らしい生活を」

27 年度は退去者も少なく、また迅速な入居により稼働率の目標達成できた。また体調不良時などに迅速な受診を行う事で入院者の減少につながった。人材不足の中、医療面・介護面の連携をしながら乗り切った 1 年であった。

【年間目標】

- ①自立支援
- ②介護・医療・家族との連携
- ③サービスの質の向上
- ④職員育成・確保・環境整備
- ⑤安定した稼働

【実践内容】

- ①自立支援と現状維持

①食 事

	男	女
自 立	5	20
見守り・介助	2	13

様々な食事形態を選べるシステムになり、嚥下困難な方も口から食べ物が入ることで現状維持へと繋がった。

- ・ 座席は一部固定化されているが、状態に応じて変更を行った。
- ・ 健康管理面より、食事チェック、あるいは必要な方には水分チェックを行った。
- ・ 健康状態、嚥下状態に合わせ、看護師・管理栄養士と連携を取り、食事形態に配慮した。
- ・ 体調不良時には居室配膳を行い、安全に、そして体調回復に努めるように配慮した。
- ・ テーブル上は常に清潔に保ち、気持ち良く食事が取れるように気配りした。
- ・ 毎月 1 日と 15 日に松花堂弁当にて食事提供、また入居者のリクエストメニュー等も取り入れた。
- ・ 食事レクの実施一季節の食材を取り入れ実施。
- ・ 食事意見表を作成し、入居者の意見を毎日集め、献立内容の改善に努めた。

②排 泄

排泄状況

	男	女
自 立	4	12
介 助	2	17
おむつ	1	4

出来るだけ残存能力を活かせる介助を心掛けた。昨年に比べ介助が必要な方やおむつ対応の方が増加した。

③入 浴

・ 入浴回数

	男	女
毎 日	2	5
3回／週	4	14
2回／週	1	14

・ 入浴時間

	男	女
昼間（13:00～17:00）	7	33
夜間（19:00～21:00）	0	0

・ 介助状況

	男	女
自立・見守りのみ	2	2
介 助	5	31

・ 入浴状況

	男	女
一 般	6	20
チェアイン	1	13
シャワー	0	0

以前に比べ介助が必要な方やチェアインでの入浴の方が増加。入浴環境を整え、気持ちよく、安全に入浴できるように配慮した。

- ・ 夜間浴の希望者はなし。時折、外出等で帰園が遅くなった際に使用するのみ。

④環境面

- ・ 居室清掃

	男	女
自立	0	0
1回/週	0	2
2回/週	7	28
3回/週	0	3

*原則は3回/週

- ・ 週2回ベースで居室清掃を行っている。できる事は自分でして頂くよう声掛けを行った。
- ・ 毎日気持ち良く、清潔に過ごして頂くためにご入居者の要望に応じ、居室清掃を行い、リネン交換は週1回行うように配慮した。
- ・ 玄関前、2階食堂バルコニー、食堂、3階バルコニー、4階屋上等を緑と花で飾り、気持ちが落ち着く空間作りを提供した。

⑤機能訓練・リハビリ

- ・ 鍼灸師によるマッサージ、鍼、電気治療器、水流マッサージ器を利用。
- ・ 生活の一部として、又、身体機能の維持へと繋がった。
- ・ 個々の状態を見極め、個別リハ、集団リハを実施。特に嚥下体操は昼食前に全体で行い、嚥下状態に合わせて毎食時に個別で嚥下体操も実施した。

⑥健康管理

ご本人からの訴え、様子などをしっかり把握し、情報共有に努めた。

看護師、介護士連携の下、主治医へ情報を報告、相談、ご家族への報告等、一連の動きを確立。又、対応をスピーディーに行い、入院者減少へ繋げた。

⑦ケアプラン

ご本人、ご家族の要望を下に分析し、プラン実行へと繋いだ。

随時、見直しを図り、期限を守り実行した。

レクリエーション・クラブ活動報告

<1、クラブ活動に関して…>

近隣のボランティアの協力もあり、ご入居者の方々は生活の一部として定着した。

実施時間 = 14:00 ~ 15:00

場所 = 2F 食堂 (カラオケのみ 4F 多目的室)

< 2、レクリエーションに関して… >

毎日、体、頭を使うレクリエーション、散歩等を実施したが、実施出来ない日もあった。そこで茶話会に変更し、コミュニケーションの場を提供した。

手芸クラブ

日時 = 毎週火曜日 10:30 ~ 11:30

場所 = 2F 食堂

担当職員 = 藤原 CW・長濱 CW・岩本 CW

作品の中には非常に高度な物もある。各々の個性を活かし、楽しんで参加されていた。

ボランティア活動

華道 : 第4土曜日 13:30 ~ 14:30 磯野先生

書道 : 第4火曜日 13:30 ~ 15:00 山村先生

ボランティアの先生方の新しい提案はご入居者の楽しみの一つであった。

シャンソンの方も月に1回、カラオケ会を行って下さる。

手先を使用することで、ADLの維持へと繋がった。

< 3、その他 >

① 買い物便について

日時 : 毎週月・木曜日 14:00 ~ 15:15

場所 : マックスバリュー・垂水方面 (希望時のみ) サティール

全ご入居者の方対象に気分転換、ADLの維持等を目的に行っている。

介助の必要な方が多い日は買い物代行の時間をずらす等工夫した。

生活の一部になりつつある反面、買い物代行に集中している時もある為、皆様に声かけし、自立支援を実践した。

② 送迎について

・送迎バス(毎日運行)

垂水駅 ⇄ ふるさと (1日8便)

途中下車の件も解消し、入居者の方も生活の一部としてうまく利用されている。

また、17時台の送迎便を利用して生活の一部となった。

- ・予約便

神戸市内の受診送迎に限定して実施している。

ご入居者やご家族の負担軽減となり、通院時、職員が付き添うメリットもある為、情報も確実に現場に落とせるのでよい傾向となった。

ご入居者のニーズは高く、多くの方が利用された。

- ・衣料販売

3か月に1回衣替えの時期に合わせて定期的にも実施している。衣料を中心に施設内での買い物と服選び。買い物をする事の楽しみを味わっていただいた。

- ・意見交換の場の提供

H27.3月に運営懇談会を実施、介護保険の変更点や、運営に対する皆様との意見交換ができたと思われる。

食事に関しては、ほぼ満足しているという意見が多く寄せられた。

年間行事

1. 特養との合同行事

〈納涼祭〉

平成27年8月24日(日) 31名、家族様(10家族)参加

2. 外出行事・外食会 (事前に参加者を募り、希望者のみ参加)

自由に外出を楽しんでいるご入居者が多い中、身体が不自由、または一人での外出に不安な方も外の空気を吸って社会との繋がりを感じて頂けるように計画した。また健康面等の理由で外出が出来ない方に対しては施設内行事を企画し実施した。

【春の花見会】

平成26年4月3日(金)

妙法寺川へドライブ。また食事レクリエーションで季節の食事を実施。

15名参加。

【外食会】

平成26年5月27日(水)

「和食さと」にて外食。またドライブも行う。

7名参加

【6月お食事会 バイキング】

平成27年6月16日(火)

バイキング形式で食事レクリエーションの実施。

38名参加

【外食会】

「喃風 お好み焼き」 ご入居者の希望もありお好み焼きの外食会を行う。
平成 27 年 7 月 14 日(火)
参加 9 名参加

【敬老祝賀会】

天候により夕涼み会から敬老会に変更となったが皆様でお祝いを行う。
平成 26 年 9 月 22 日(火)
37 名参加。

【外食会】

イグカフェ(マリソピア)。外出の機会の少ない方を中心に行う。
平成 27 年 10 月 22 日(木)
9 名参加。

【外食会】

「くら寿司」 2 回に分け実施し多くの方に参加して頂く。
平成 27 年 11 月 12 日(木) 5 名参加
平成 27 年 11 月 18 日(水) 9 名参加

【忘年会】

平成 27 年 12 月 22 日(火)
お鍋・デザート。ご入居者、職員が一緒にお食事。シャンソンの演奏、ビンゴゲーム、職員の出し物等を実施。
39 名参加。

【初詣】

平成 28 年 1 月 13 日 (水)
海神社、ごちそう村にて食事会。
10 名参加。

【お茶会・デザートタイム】

チョコフォンデュ
平成 28 年 2 月 16 日(火) 12 名参加
平成 27 年 2 月 23 日(火) 11 名参加
平成 28 年 3 月 18 日(金) 8 名参加

【ひな祭りパーティ】

平成 28 年 3 月 2 日(水) 7 名参加

②介護・医療の連携

現場内で情報共有を行い、取り組んできたが、介護士の知識・経験不足の面を看護師サイドがバックアップする場面が多く見受けられた。不慣れな面もあったが、後半は少しずつ経験を積んで連携を行った。

③安定した稼働

目標値 97%は達成する事が出来た。

要因としては、定期受診や体調不良時には迅速に受診を行う事で入院者の減少に繋がり稼働率を維持する事が出来た。

④職員の育成 - 資質向上を目指す

気遣い、気配りが出来る職員の育成、資質向上を目標にあげていたが、結果的に大きな変化は得られず、今後も継続した職員教育が課題となった。

また、次年度の大きなテーマとしてリーダーとなる職員の育成にも力を入れたい。

以上